

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・面接試験 合格体験記

2021年 4月 6日

1級受検番号 NO 04F3620083 氏名 Y.M (新潟 県在住)

■1級技能士を目指したきっかけ

少し昔の話になりますが、2級を取得したばかりの頃、ある団体の勉強会に出席した時のことです。1級制が-の女性の方と雑談した際に「2級制が-のレベルが低すぎる。これはなんとかせねば!」とお感じになり1級の取得をされたそうです。彼女は私が2級に合格したばかりだったことを知らず、勿論、他意があってそのようなことを仰ったわけではありません。「2級制が-」になって浮かれていた私にとって、これは強烈なコトバでした。「よし、それならばまだ知識・スキルがネットなうちに「取ってしまおう」と思ったのがきっかけです。

■当初の勉強法

私は当初、受験勉強には3つのカテゴリーがあると仮定しました。1)は、キャリア・コンサルティング及びカウンセリングとは何か?という本質的な勉強。2)は、日頃の実務の中でどう相談者に向き合ったか?また後輩等にどう指導したのか?など実務を自身で振り返る。そして3)は、狭い意味での「試験対策」— 受験ノウハウ、合格のための考え方等を学ぶことです。この3つのどれが欠けても合格はないと思います。3つのカテゴリーの勉強を均等に行うことが「急がば回れ」合格への一番の近道かと思えます。特に3)ばかり一生懸命やっても、合格は中々難しいと思えます。3つのカテゴリーの勉強が、自分の中である基準に達することで、合格は後からついてくると思って勉強しました。

■合格のきっかけ

何度かの受験で、面接試験における自分の弱点を徹底的に学び直したことです。自分でマインドマップやチャートを作り、面談の進め方や頭の中を文字化・可視化することを試みました。なんせあの合格率です。私もそうでしたが、合格のための勉強時間が圧倒的に足りていない方も多いと思います。勉強時間の確保と自身の勉強の仕方を、いろいろ工夫して試してみたことが大きかったです。

■学科対策

繰り返し「青本」を読みました。また過去の問題を1つ1つ調べ上げて「青本」と照らし合わせ、勉強しました。

■論述試験対策

簡潔で分かり易い文章を書くにはどうすればいいか?また表記のためのボキャブリーを書き溜めて短時間で書き上げることが出来るよう準備しました。当会の「Z本」の論述の部分が大変役立ちました。「上手い」「良い」と思った解答を、書写したりしました。

■面接試験対策

口頭試問で、自身の面談を徹底的に再現できるよう、ロープシで自分が話したことを忘れぬようにしたり、口頭試問で聴かれることを、何度も「声に出して」練習しました。

■受検される方へメッセージ

理論・実務・試験対策、いずれも自分の中に血肉化して高めていくことが大切かと思えます。受験するのは「自分」ですから、自分のやり方・スタイルを確立する思いで学習されるとよいと思います。特に面接試験はいろいろな受け方があると聞きます。私は当会の「やり方」しか知りませんが、自分では予想だにできなかった高得点で合格出来ました。是非、当会の講座を受講されると効果的な勉強が出来ると思います。